

第2学年2組 保健体育科学習指導案

場所 武道場 指導者 神谷 駿

- 1 単元名「一本への道」～目指せ 最高の一投!仲間と極める投げ技～(11時間完了)
- 2 目標
 - 基本動作や基本となる投げ技を用いて投げるなど、「一本」を目指して相手の動きに応じた簡易な攻防を展開することができる。(知識・技能)
 - 「一本」を取るための自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに考えたことを他者に伝えることができる。(思考・判断・表現)
 - 「一本」を取ることを目指し、仲間と協力しながら、積極的に取り組もうとする。(主体的に学習に取り組む態度)

3 『本単元』における学びをたのしむ生徒の姿について

本単元における学ぶたのしさは、相手の動きに応じたり、相手の力を利用したりして技をかけ合い、攻防する中で感じる事ができる。そこで、生徒にとって初めての学習となる「投げ技」を取り扱うことで、「やってみたい」という思いを引き出し、追究意欲を高めたい。また、グループ練習や練習試合など、他者とかかわる活動を通して、「一本」を取るために試行錯誤をしながら、考えを検証し、よりよい方法を見つけていく姿を期待したい。振り返りの活動を通して、課題を自分たちの力で解決できたという実感を持ち、柔道のみならず、さまざまなスポーツに対して考えを広げ、学びを生かそうとする姿勢を目指す。

4 単元構想

展開	生徒の好奇心を引き出ししていくための単元構想の工夫 手だて①	学習課題と予想する生徒の姿
出会う	単元全体を通して生徒の追究意欲を高めるために、生徒にとって初めての学習となる「投げ技」を実演で紹介し、それを単元を貫く学習課題として設定する。 「できた」を実感し、投げ技への好奇心を引き出すために、1時間に2つの技を取り上げ、1つずつ紹介・練習することで、段階的に学習を進める。	「一本」を取るためにはどうしたらいいだろう。(5時間) (投げ技で倒した相手を) 抑え込む。投げ技で相手を倒す。(積極的に投げ技を仕掛けることで) 相手に反則をさせる。 「一本」を取るためには、投げ技を仕掛けることが大切なんだな。 投げ技ができるようになりたいな。 ①横受け身 ひざ車・支え釣り込み足②前回り受け身 払い腰・背負い投げ③後ろ受け身 小内刈り・大内刈り いろいろな倒し方があるんだな。1つずつ、できる技が増えてきたよ。 仲間と協力して、いろいろな技に挑戦してみたい。 グループ練習 いろいろな技のかけ方が分かってきたぞ。何度投げ技をかけても、うまく倒せないな。抵抗する相手でも、うまく投げ技で倒せるかな？ 投げ技で「一本」を取りたいな。
深める	課題を把握したり、成果を共有したりすることができる環境を整えるために、他のグループとの練習試合の後で、グループの仲間や対戦相手から意見を聞き、振り返りを行う。	本時 どうしたら投げ技で「一本」を取れるだろう。(4時間) 課題 グループ練習の時のようにうまくいかないぞ。抵抗されるとなかなか倒すことができないな。倒すことはできたけど「一本」は取れなかった。 倒されたけど、体をひねって背中を着かないようにしたら、「一本」は取れなかったよ。腰を落として、相手が倒そうとするのと逆の方向に力を入れるといいよ。 成果アドバイス 技を連続でかけたら倒せたよ。フェイントをかけたら、相手のバランスを崩せたよ。相手を移動させてみたらどうか。相手の動きにタイミングを合わせて投げ技をかけるといいよ。 課題 簡単に倒されてしまった。受け身をうまく取ることができなかった。 相手を崩して投げ技をかけたら、「一本」がとれたよ。いろいろな技で「一本」が取れるようになりたいな。〇〇さんとも試合をしてみたいな。 いろいろな相手から、投げ技で「一本」を取りたいな。
活用する	相手の状態に合わせて、自分がどう動いたらよいのか考えを巡らせるとともに、学びの定着化を図るために、「一本」を取ることを目指した試合を行う。	「一本」を取ることを目指して、試合をしてみよう。(2時間) 大内刈りと背負い投げを連続してかけてみたい。投げ技で「一本」を取れなかったら、抑え技に切り替えよう。相手が後ろに体重をかけたら小内刈りをかけてみよう。 相手の動きにタイミングを合わせるのは難しいな。違う方向に崩す投げ技を連続してかけると、倒しやすいことが分かったよ。相手の体勢によって技を使い分けるといいんだね。 他の種目でも、友達との駆け引きをたのしみたいな。